

令和7年度決算 勉強会資料 一般会計（歳出編）

対象：一般会計 歳出全款（議会費～公債費） / 2026年9月10日

決算書と行政実績報告書から、**一般会計の歳出**を款別・性質別に集計し直した資料です。数字はすべて**千円**（特記除く）。「予算」は断りがなければ**予算現額（＝補正後）**を指します。出典は令和7年度歳入歳出決算書、令和7年度行政実績報告書、および決算書をデータベース化したものです（R4～R7の一般会計を款・項・目・節で収録。款計＝総括表の決算額と一致することを確認済み）。過去の答弁は決算審査特別委員会の会議録から引いています。**集計は機械的に行っていますので、疑義があれば必ず原本でご確認ください。**

💡 委員会の進み方（例年）

1日目＝特別会計・企業会計 / 2日目＝**一般会計 歳出（款を2～3款ずつ区切って審査）** / 3日目＝一般会計 歳入・財産に関する調書・総括質疑。

この資料は2日目の範囲です。歳入は別冊（特別会計・企業会計・歳入編）にまとめています。

SECTION 0

0. 全体の形 — 執行残9億

単位：千円

区分	R7決算
予算現額	8,674,367
支出済額	7,769,961
翌年度繰越	449,357
不用額	455,048
執行残 計	904,405
予算現額に対する割合	10.4%

単位：千円

歳出の前年比	金額
R6 支出済額	7,185,322

歳出の前年比	金額
R7 支出済額	7,769,961
増減	+584,639 (+8.1%)

増えた分の財源は 国庫支出金+235,268／町債+151,319／地方交付税+112,857／ふるさと納税+102,439。町税の増は32,499だけ。

⚠ 予算現額の10.4%（9.04億）が年度内に使われていません

歳入側でも「予算現額に対して収入済額が7.9億少ない」という状態で、これは同じことを裏から見たものです。特定財源の事業が動かなければその歳入も立たないので、**歳入の未達と歳出の繰越・不用はセットで読む必要があります**。なお、これまでの委員会では予防費や林道費など個別の不用額は取り上げられてきましたが、総額としての整理は資料に出ていません。

🔍 執行残（9.04億円）の内訳・要因と歳入連動の補足解説（タップで開閉）

1. 翌年度繰越（4億4,936万円）の主な科目と要因

- **主な繰越**：商工業振興費 1億7,233万（繰越率71%）、特産地づくり推進費 1億2,131万（同72%／さが園芸888整備等）、道路維持費 8,472万（同19%／橋梁補修等）、農地費 3,517万（同22%）、道路橋梁災害復旧費 3,181万（同65%）。
- **要因**：国県補助事業の交付決定時期（スケジュール拘束）や、建設業の人手不足・資材高騰に伴う工期設定の年度またぎが主因。

2. 不用額（4億5,505万円）の主な科目と要因

- **主な不用**：ふるさと応援寄附金基金費 9,002万、企画財政管理費 8,465万、道路維持費 3,782万、心身障害者福祉総務費 2,252万、予防費 1,529万（不用率24.6%）、観光費 1,244万。
- **要因**：入札差金（執行残）、健診受診率（約5割）と全対象者積算との構造的乖離（予防費等）、および年度末補正での減額整理のタイミング。

3. 歳入未達（Δ7億8,971万円）との表裏一体の連動

歳入の未達（国庫支出金Δ2.73億、繰入金Δ2.58億、県支出金Δ1.16億、寄附金Δ0.90億、町債Δ0.48億）は、特定財源を伴う事業が年度内に動かなかった（繰越・不用）結果として、後払い交付されるはずの国県支出金等も連動して未収となったものです。

※より詳しい図解と対照表は [全体図解ページ](#) でご確認ください。

1. 款別

支出済額の4年推移

単位：千円

款	R4	R5	R6	R7	見方・動向
議会費	82,134	82,479	84,333	85,746	微増傾向
総務費	1,687,847	1,691,832	1,603,136	1,847,942	R7に急増（ふるさと積立+1億・DX投資）
民生費	1,892,487	1,860,226	1,893,262	2,220,594	+17.3%。保育施設整備2.9億が新規
衛生費	796,858	863,569	753,702	773,116	横ばい
労働費	58	77	53	57	－
農林水産業費	591,309	512,865	659,317	527,950	増減が激しい。R7は△20%
商工費	333,705	264,502	245,145	250,682	減少後に横ばい
土木費	429,677	363,693	504,803	544,939	右肩上がり（道路・橋梁）
消防費	512,723	226,492	235,613	261,159	R4に防災行政無線2.89億
教育費	576,183	661,085	686,984	687,645	R5に一段増して高止まり
災害復旧費	128,352	13,084	11,927	29,493	変動制
公債費	538,214	512,849	507,041	540,632	R7反転増（元金償還開始）

R7の不用額と繰越

単位：千円

款	予算現額	支出済	不用額	不用率	繰越
総務費	2,062,947	1,847,942	210,979	10.2%	4,025
民生費	2,290,510	2,220,594	69,915	3.1%	－
衛生費	801,871	773,116	28,754	3.6%	－
農林水産業費	702,373	527,950	17,945	2.6%	156,477
商工費	440,107	250,682	17,096	3.9%	172,328
土木費	680,105	544,939	50,448	7.4%	84,717
消防費	274,540	261,159	13,380	4.9%	－
教育費	718,337	687,645	30,691	4.3%	－
災害復旧費	66,626	29,493	5,322	8.0%	31,810
公債費	541,289	540,632	656	0.1%	－
予備費	8,935	0	8,935	100%	－

総務費の不用率10.2%が款別で唯一の2桁です。商工費と農林水産業費は繰越が支出の3～7割に達しています。

SECTION 2

2. 性質別 — 4年で構造が変わった

単位：千円（節を集約）

区分	R4決算	R7決算	増減率	R7構成比
負担金補助及び交付金	1,598,699	1,728,107	+8.1%	22.2%
人件費系（給料・手当・共済・報酬）	1,064,486	1,261,205	+18.5%	16.2%
委託料	1,114,158	1,172,428	+5.2%	15.1%
積立金	622,892	650,381	+4.4%	8.4%
工事請負費	970,043	616,772	Δ36.4%	7.9%
扶助費	447,128	595,866	+33.3%	7.7%
償還金利子（公債費）	589,920	555,279	Δ5.9%	7.1%
繰出金	443,722	437,921	Δ1.3%	5.6%
需用費	162,096	175,466	+8.2%	2.3%

 款別では見えにくい変化（重要構造変化）

委託料と負担金補助で歳出の37%を占めます。どちらも町が外部に支出しているお金ですが、決算書では中身が備考欄にしか出てきません。

4年間の動きを見ると、人件費**+18.5%**（会計年度任用職員制度の影響が大きい）・扶助費**+33.3%**・工事請負費**Δ36.4%**。

施設整備（ハコ・モノ）から、人（人件費）と給付（扶助費）へ支出の重心が移っています。款別の表だけでは見えない大きな構造転換です。

SECTION 3

3. 不用額 — 単年度限りではないもの

不用額の大きい目（上位項目）

単位：千円

款	目	予算現額	支出済	不用額	不用率
総務費	ふるさと応援寄附金基金費	700,000	609,977	90,022	12.9%
総務費	企画財政管理費	609,137	524,487	84,649	13.9%
土木費	道路維持費	457,662	335,128	37,816	8.3%

款	目	予算現額	支出済	不用額	不用率
民生費	心身障害者福祉総務費	415,065	392,541	22,523	5.4%
総務費	一般管理費	380,434	363,739	16,694	4.4%
民生費	児童措置費	543,900	528,127	15,772	2.9%
衛生費	予防費	62,145	46,858	15,286	24.6%
民生費	児童福祉総務費	491,842	477,526	14,315	2.9%
商工費	観光費	108,671	96,229	12,441	11.4%
民生費	社会福祉総務費	243,434	232,630	10,803	4.4%
予備費	予備費	8,935	0	8,935	100%
総務費	賦課徴収費	48,439	40,801	7,637	15.8%
土木費	道路新設改良費	89,460	81,952	7,507	8.4%
消防費	非常備消防費	53,277	45,918	7,358	13.8%
教育費	中学校費・学校管理費	99,267	92,497	6,769	6.8%

継続して不用額が生じている主な項目



企画財政管理費 — 4年累計3億9,942万の不用

毎年 6,242万～1億3,739万が不用となっています（不用率10.5～21.4%）。財政管理費という性質上、予備的な枠や基金積立の見込みが含まれる科目ではありますが、**毎年1億円前後という規模が4年続いている**点は、構造的な要因の説明を受けておきたいところです。



予防費 — 毎年2,000万前後が不用、受診率は5割

単位：千円

年度	R4	R5	R6	R7
不用額	15,820	14,820	22,770	15,286
不用率	13.4%	8.3%	32.4%	24.6%

R7年12月定例会で町長が「直近3年間の特定健診受診率は、**令和4年度43.9%、令和5年度48%、令和6年度49.5%**」と答弁しています。受診率が5割前後で推移する一方、予算は対象者全員に近い規模で計上されているという関係になります。積算の考え方と、不用となった財源の扱いを確認しておきたい科目です。



【過去答弁】「3月補正で落としておくべきだった」（建設課長）

R6決算審査で**建設課長**から次の答弁が出ています——「令和5年度から100万円緊急補修で予算を組んでいたが、実施事業がなかったためそのまま不用額となった。**本来3月（補正）で落と**

しておくべきだった」。

執行見込みが立たなくなった予算をいつの時点で整理するかという運用の問題として、記録に残っている答弁です。

SECTION 4

4. 繰越 — 翌年度への449,357

単位：千円

款	目	予算現額	支出	繰越	繰越率
商工費	商工業振興費	242,818	66,440	172,328	71%
農林水産業費	特産地づくり推進費	167,897	46,567	121,309	72%
土木費	道路維持費	457,662	335,128	84,717	19%
農林水産業費	農地費	161,970	123,101	35,168	22%
災害復旧費	道路橋梁等災害復旧費	49,329	17,231	31,810	65%
総務費	戸籍住民基本台帳費	60,044	53,783	4,025	7%

商工業振興費：支出済の中身は地域共通商品券換金業務委託46,087・商工業振興補助金14,745・特産品等振興施設維持管理委託730など。**繰越1.72億が何の事業かを確認する**

特産地づくり推進費：支出済にさが園芸888整備支援事業費補助金45,301。繰越1.21億は施設整備の年度またぎと見られるが要確認

前年度（R6）からR7に繰り越して執行した分は、橋梁維持補修85,499・橋梁調査設計2,508・物価高騰対応臨時交付金54,662・道路メンテナンス事業補助52,665など

繰越そのものは問題ではありません。見るべきは、複数年連続で同じ目が繰り越していないかどうかで、単年であれば工期の問題、連続していれば事業設計や入札の問題という読み方になります。

SECTION 5

5. 前年から大きく動いた目（R6→R7）

単位：千円

款	目	R6決算	R7決算	増減額	中身・主な要因
民生費	児童福祉総務費	153,054	477,526	+324,472	就学前教育・保育施設整備交付金補助金290,040（新規）
総務費	ふるさと応援寄附金基金費	505,588	609,977	+104,388	寄附額の増をそのまま積立
土木費	道路維持費	261,373	335,128	+73,754	橋梁維持補修126,559・町道維持補修65,458
総務費	電子計算費	38,219	87,850	+49,631	DX関連。中身の確認が要る
衛生費	塵芥処理費	200,934	240,891	+39,957	処理量と委託単価の両方を見る

款	目	R6決算	R7決算	増減額	中身・主な要因
民生費	児童措置費	489,476	528,127	+38,651	保育所運営委託197,361・児童手当159,260
総務費	一般管理費	331,702	363,739	+32,036	庁舎警備6,616・維持管理5,972ほか
公債費	元金	493,192	524,761	+31,568	起債増の返済開始
教育費	中学校費・学校管理費	61,100	92,497	+31,397	屋内運動場空調設備設置工事設計が皆増
民生費	心身障害者福祉総務費	363,836	392,541	+28,704	障害者自立支援給付費298,763（利用者97人）
教育費	図書館費	21,770	50,279	+28,509	記念図書館改修工事26,674
消防費	防災費	20,370	45,586	+25,216	防災拠点施設整備10,439（繰越）・拠点事業用車輛11,985・Ｊアラート受信機更新6,325
民生費	社会福祉総務費	306,585	232,630	Δ73,955	物価高騰対策給付金の縮小（R6は電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金）
農林水産業費	農地費	194,020	123,101	Δ70,918	R6にため池調査42,797・農道舗装繰越33,211
教育費	保健体育総務費	72,526	19,994	Δ52,532	R6は国スポ関連。R7で剥落
土木費	道路新設改良費	118,204	81,952	Δ36,251	何が減ったか
教育費	公民館費	44,923	13,270	Δ31,652	R6に大型工事
農林水産業費	特産地づくり推進費	76,819	46,567	Δ30,251	繰越1.21億とセットで見る

増減の説明は行政実績報告書の款の冒頭の一文にとどまるため、「昨年度からの継続なのか今年度からの新規なのか」が資料上は読み取れません。大きく動いた目については、委員会での説明を求めることになります。

SECTION 6

6. 複数の款にまたがる3つのテーマ

① ふるさと納税

R7の姿（千円）	
項目	金額
寄附金収入（歳入）	609,977
基金積立（歳出）	609,977
基金繰入（歳入）	693,511
基金残高の増減	Δ83,534
基金残高（R7末）	1,273,707

件数36,776・平均16,586円。別に企業版1,400（多良駅駅舎改修・3件）。

「予算」は3つある（千円）

予算区分	金額	実績との差
当初予算	1,001,000	△390,000
予算現額（補正後）	701,402	△90,022
実績	609,977	—

当初10.01億 → 年度途中に**3億円の減額補正** → 実績6.11億でさらに9,002万下回った。「3.9億未達」は当初予算比の数字で、不用額（9,002万）と混同すると答弁で訂正される。

✖ 経費率は5割ルールぎりぎり

資料に「うちふるさと納税事業分」と明記された分だけで **242,103=39.7%**（謝礼162,372・通信運搬46,844・手数料9,592・管理業務委託20,516・ワンストップ1,873・備品906）。インターネット広告委託料64,923を含めると **307,026=50.3%**。[広告費が全額ふるさと納税分かは資料上不明・要確認]

充当先は別表で全件見える。裏返すと**6.9億円分の一般施策がふるさと納税財源（基金繰入）に支えられている形**——定期予防接種12,400、各種健診15,100、子ども医療、保育所障害児保育、小中学校の備品と補助教材、入学祝金・卒業祝金まで。

? 中間事業者への業務委託について確認したい点

昨年（R6決算・3日目）の委員会で手数料を問われた際、町長から「**プロポーザル参加業者から問い合わせが来ており、弁護士に相談中。この場では発言を控える**」との答弁があり、保留となっています。
R8予算には7,700万円が計上されている一方、R7の一般会計決算に同規模の執行は見当たりません（企画財政管理費の「ふるさと応援寄附金管理業務委託料」は20,515,785円）。1年が経過したので、手数料率・評価指標・契約期間・契約解除の条項について、現時点で説明できる範囲を確認しておきたい項目です。

📖 【参考答弁】 昨年の減少要因（財政課長）とミカン頼みの課題

昨年の減少要因（財政課長）：①ポータルサイトが3つだけだった（12月にさとふる・ふるなびを追加）②市場競争激化と物価高で寄附者が日用品志向 ③**みかんの在庫不足でシーズン早期に受付終了**。

委員から「R2 11億→R3 9億→R4 5.7億→R5 6億→R6 5億。**もうミカンじゃない**。白石はR2 6億→R6 11億で逆転された。唐津は55億」との指摘があり、町長は「**加工品がないのが弱み**。白石はたまねぎの粉末・トウモロコシ・米・肉をセットにしている」。

◎ 前年度実績があり本年度見当たらない事業（3件）

事業名	これまでの経緯	確認したいポイント
生活管理指導員派遣事業委託料	R4=60,750円／R5=62,100円／R6=56,700円と毎年計上 → R7決算書に項目なし	廃止か、別科目移管か、報告漏れか
緊急通報装置レンタル料	R6=118,582円 → R7は「レンタル料賃借料113,736円」に名称が変わった可能性	設置数22件の継続性とあわせて
太良町スタンプラリー	R6は委託料923,021円＋賞品代219,507円 → R7一般会計に項目なし	誘客補助金の内数か、中止か。昨年は参加736人・25箇所デジタル回遊データを取得し事業所へ共有、R7年12月までHP公開と答弁

◎ 執行残と3月補正

繰越4.49億＋不用4.55億。個別の目は §3・§4 のとおりですが、**総額としての整理**は資料に出ていません。歳入の未達7.9億と款別に突き合わせた表があるか、勉強会で確認しておきたいところです。

SECTION 7

7. 款ごとの押さえどころ

議会費（85,746千円）

4年で+3,600。委員会運営の効率化やオンライン審査の検討状況は、議会側の自己点検の材料になります。

総務費（1,847,942千円 | +15.3%・不用率10.2%）

ふるさと応援寄附金基金費（§6①）／企画財政管理費の不用84,649・4年累計3億9,942万（§3）
電子計算費**+49,631（+130%）**——DXの中身。昨年の宿題3件がここに乗る：**アナログ規制**（例規を総ざらいし**1,200件以上**にチェック、(株)ぎょうせいに委託。各課でルール改正作業中）→ 改正済み・対応中・未着手の件数／**ロゴチャット**（正職員121人中78人＝**64.5%**、6月時点50.4%から伸長。利用料111.8万→178.7万で+60%、AI音声認識も216,670→354,200円）→ R7年度末の利用率／**AI×庁内文書検索**（「ロゴチャットはインターネット接続で情報漏洩リスク。他町でも実装なし」→ クローズドな仕組みの調査結果）
一般管理費+32,036：庁舎関係の内訳／**賦課徴収費**の不用7,637（15.8%）
移住定住：R5 35件920万→R6 32件（金額は増）。**9世帯22人が定住し、補助金返還はゼロ**（5年以内転出で返還）。昨年、「定住者の声を聴取して次に生かしてほしい」との要望に課長が「**アンケートに早速取り掛かる**」と答弁 → その後の実施状況
行政相談の相談件数がゼロ（12回開催）。行政相談員が不在で後任が見つからない（R6決算で判明） → R7の状況

民生費（2,220,594千円 | +17.3%・最大の増加額）

児童福祉総務費**+324,472**＝就学前教育・保育施設整備交付金補助金290,040（新規）。**何がどこに建つのか・完成年度・定員増を見込む根拠**

社会福祉総務費△73,955＝物価高騰対策給付金の縮小。負担金補助が131,447→66,692

老人福祉総務費+20,724：介護保険負担金355,488。高齢者事業の委託料R6→R7は 配食14,040→14,712／生活支援体制整備15,650→14,944（**△4.5%**）／生きがい対応型デイ9,116→11,694（+28.3%）／訪問型サービス542→616／外出支援236→204（△13.7%）／家族介護慰労金1,960→2,600（+32.7%）／老人ホーム入所措置費8,513→7,530（△11.6%）

移送サービスの対象が「概ね65歳以上」で、通院の足がない若年層は対象外。昨年「両親が送迎しているが、みかんが忙しくなると週3回が1回になる」との問題提起があった→ その後の検討状況

緊急一時保護費：R6は虐待相談4件で宿泊費・食事代（全件解決）

衛生費（773,116千円）

予防費の不用24.6%が常態化（§3）。定期予防接種21,621・各種健診15,289のうちどこが未達か

塵芥処理費+39,957：粗大ごみ20トン増の追跡。昨年、環境水道課長が**クリーンセンターへのヒアリングを約束**→ その結果。処理委託単価の変化も

がん検診はR6で胃1人・肺1人・大腸3人（疑い含む）を発見。R5は肺3人・乳1人。**特定健診・がん検診はR4年度から町長方針で無料**

コロナワクチンは**R7年10月から国の助成8,300円がなくなる**（自己負担1,300円は維持、差額は町負担）→ R7決算での町負担額

病院費21,488（△1,149）：繰出金の減少理由（企業会計側とセットで）

農林水産業費（527,950千円 | △20%・繰越156,477）

特産地づくり推進費：さが園芸888整備支援45,301と繰越121,309／**農地費△70,918**：R6のため池調査・繰越工事の反動

有害鳥獣：冷凍庫（R6設置）の利用率**33.9%**（捕獲354頭中220頭）。運用開始はR7年5月2日。報償金は成獣17,000円（国県12,000+町5,000）・幼獣11,000円で**近隣で最高額**、アライグマ・アナグマにも町単独2,000円上乗せ。支払いは町分が年2回、国県分は決算確定後に年1回。日曜は開かない・夏場の臭い・小型は埋却が早い、という運用課題

漁港浚渫：多良川・糸岐川の河口は海苔の種付け前（10月頃）にバックホウの届く範囲で実施

親元就農給付金は月3万円（年36万）で10年以上据え置き。昨年「よそは年70～75万」と指摘され、町長「検討はするがあまり期待せんでおって」

商工費（250,682千円 | 繰越172,328）

商工業振興費の繰越1.72億が何か

観光費の不用12,441（11.4%）：観光客誘客事業補助金30,914・観光振興補助金22,098・納涼夏まつり3,635。入湯税5,130は観光振興補助金に充当

観光施設の利用者	R6	R7	増減
竹崎城址展望台	30,351	24,702	△18.6%
中山キャンプ場	465	164	△65%
たらふく館	254,507	249,653	△1.9%
観光案内所	3,635	3,274	△9.9%
総合福祉保健センター	32,032	33,201	+3.6%（4年連続増）

誘客・振興の補助を投入しながら、主要施設の利用者は減少しています。その要因についての説明は、資料上は款の冒頭の一文にとどまります。

土木費（544,939千円 | 右肩上がり・繰越84,717）

道路維持費：橋梁維持補修126,559＋前年度繰越明許85,499。繰越事業の完了見込

町道法面伐採・路肩清掃委託：R6 12,825→R7 12,705（ほぼ横ばい）。ただし**要望は毎年増加傾向**で、R7年8月末で4件未対応、加えてR3・R5・R6の各1件が未対応のまま

町営住宅の未収：R2～R4分が滞留。4名と面談・誓約書、3名はほぼ完済、1名は連絡取れず。生活保護につないで住宅扶助から充てる連携も

部分補修の単価：業者が「少量では採算が合わない」。建設課長「積算上は最小規模で計算している」→ 今後検討

消防費（261,159千円）

防災費+25,216：防災拠点施設整備10,439（繰越）・防災拠点事業用車両11,985・Jアラート受信機更新6,325

R4の**防災行政無線整備2.89億**の効果と維持費（R4だけ消防費が5.1億に跳ねた原因）

小型動力ポンプが2サイクル→4サイクルで重くなり団員の負担増（キャスター装着の提案が出ている）。更新の目安は20年

非常備消防費の不用7,358（13.8%）

教育費（687,645千円 | 高止まり）

図書館費+28,509＝記念図書館改修工事26,674／**中学校費・学校管理費+31,397**＝屋内運動場空調設備設置工事設計（皆増）。**R8以降に本体工事**が来る（財政課長「学校教育施設整備事業債を活用する」）

トイレ洋式化はR7～R8で計画的に実施

ICT支援員4名。「4校で1人ではなく多良と大浦で1人ずつ」との要望が継続して出ている。R7は台湾とのオンライン交流の支援も

1人1台タブレットは東芝ダイナブック。故障は多いが意図的破損はなし

学童駅伝・新春マラソン・町内駅伝がいずれも参加減。町長「1回中止すれば復活は厳しい。町外参加も検討」。新春マラソンは1月4日→1月第2土曜に変更したが参加減、町内駅伝は7チームで9区間を集めにくくコース変更を検討中。参加料は町内小中200円・町外400円・一般500円で**県内最安**（「参加料が高くても太良の産物がもらえるほうが来る」との声も）

民芸保存会育成補助386,000→370,000円。R6の実施は伊福・里・竹崎・**道越**（答弁の訂正あり）。映像保存は別の補助金で対応可能との答弁

育英資金は**新規貸付0人**（継続4人・1,440）で基金95,927のうち83,010が現金のまま

公債費（540,632千円 | +33,591）

元金+31,568＝起債増の返済開始。**実質公債費比率6.5%→6.8%**（昨年の「ジワジワ上がる」答弁の実績値）

交付税措置率77.1%＝実質負担は約9.2億。辺地債80%・過疎債70%の措置。臨時財政対策債はR6・R7とも発行なし

SECTION 8

8. 過去3年の委員会で出ている主な答弁

R4決算（2023-09-12/13）・R5決算（2024-09-17/18）・R6決算（2025-09-16/17）の会議録から、今年の審査に係る答弁を事実として拾ったものです。

📖 【未収金・収納対策】太陽光発電・時効消滅3要件・町営住宅

- **町税の収納率向上への取り組み**：県内町村平均との比較を含め、収納対策の強化が議論されています（2025）
- **太陽光の高額滞納**が固定資産税未収の中心。2024で「町外の方が500万円滞納」→ 2025では「お一人200万円程度。収納率に直すと0.5%分。分納誓約の増額を行いあと2年程度で完納に導く。守られない場合は太陽光の差押えも検討」
- 軽自動車税は廃車届が出ていないだけのケースがあり、処分済みの実態を調べて削除する取り組み
- **不納欠損の3要件**（税務課長、2025）：①納期限から5年経過の時効消滅 ②執行停止が3年継続 ③執行停止の即時消滅（外国人の帰国など取る手段がない場合）
- 町営住宅の未収はR2～R4分が滞留。4名と面談・誓約書、3名はほぼ完済、1名は連絡取れず。生活保護につないで住宅扶助から充てる連携も（2025）

📖 【予算の積算】過誤納払戻金の慣行・3月補正の運用

- 町税過誤納払戻金は「過去平均で個人150万・法人200万・還付加算金10万＝360万を例年計上、大きなものが見込まれれば加算」（税務課長、2025）
- R6決算で建設課長「令和5年度から100万円緊急補修で予算を組んでいたが、実施事業がなかったためそのまま不用額となった。**本来3月補正で落としておくべきだった**」

📖 【基金の使い道】目的基金の縛り・地域づくり基金5.7億・水道管

- **2024**：「基金が70億あるなかで、野球場を新しくするとか観光名所を綺麗にするとか1つぐらいできないか」→ 町長「**目的基金**なので70億あるからそのまま使えるわけではない。大型事業は財源から検討する」。野球場は「軟式しか使えない。硬式まで使えれば嬉野のみゆき公園のようにプロ野球の誘致もできるが設営費が厳しい」
- **2025**：**地域づくり事業基金5億7,400万**の活用について → 企画政策課長「現在は地域づくり事業費補助金82万6,000円のに充当。条例の目的（独創的で個性豊かな活力あるまちづくり事業）に合えば充当可能」「**来年度とかに取り組めるよう努力したい**」
- **2025**：水道管の更新をめぐって財政課長「人命が一番大事。**危険な水道管については基金を取り崩してでも対応しないといけない**」

📖 【職員体制・時間外】長時間残業・人口1万人あたり職員数

- **2025**：「**250時間超が総務課に3名・公民館に2名、大きな人は400時間超**。R3～R6で9,953時間、4年間で絶対数は減らない」との指摘に、副町長「国スポ・操法大会・災害対応など**その年で変動する**。防災係を2名から4名にしても翌年は不要になる」／町長「**普通会計で人口1万人あたり96人。全国76団体中、少ない方から7番目（中位は142人）。徐々に増やしたい**」
- **2025**：職員の副業について総務課長「兼業は原則禁止だが農業・家業は許可する場合がある。**国も公務員を一人の人材として社会に貢献させる方向**」／副町長「**タイミーとは協定を結んでいる**。鹿島市はサゴジョー（季節労働者派遣）の支店がある」／町長「**農繁期に職員が応援に行っているかどうかという職員提案が出ている**」

【移住定住・教育】空き家・親元就農・学校部活動

移住定住・若者支援

- **2024**：空き家バンク登録は賃貸1・売買14・空地8の計23件。町長「町営住宅は大浦で約2億5,000万かった。県営住宅を頼んだが県は建設をやめている。**民間賃貸住宅に補助して作ってもらう方向**。空き家への補助はもっと上げてもいいと逆に思っている」
- **2025**：移住定住促進事業補助金で**9世帯22人が定住、補助金返還はゼロ**（5年以内転出で返還）。定住者アンケートについて課長「**早速事業に取り掛かる**」
- **2025**：親元就農給付金（月3万円・年36万で10年以上据え置き）の増額について → 町長「検討はするがあまり期待せんでおって」／副町長「簡単に補助金を出すと『何でそこにそんだけのお金を』という連鎖が起こる危惧がある」／町長「結婚祝金20万・出産10万・入学祝金5万に上げた。**PRが足りない**ので冊子を作った」

教育・部活動

- **2024**：部活動の人数不足について → 教育長「**太良町教育環境整備検討委員会の第1回を開催した。部活のあり方も検討する。まず町民アンケートを取る**」
- ICT支援員の配置（4校で1人か、多良と大浦で1人ずつか）は3年続けて議論されている

町長の締めめの挨拶（2025・3日目）

「歳出については自分のうちの仕事をしているという気持ちで、1つの品物を買うにしても見積を取って少しでも安く買う。歳入については自主財源が乏しいので、補助事業はないか、有利な起債は借りられないかを含めて事業にあたる。ふるさと納税は唯一の頼り」

9. 規模感（行政実績報告書から）

人口・世代構成

項目	実数
人口	7,632人
75歳以上	1,892人（24.8%）
小学生	320人
中学生	158人
教職員	56人
外国人住民	98人（ベトナム34・ミャンマー33）

事業の実人数・利用規模

事業名	実績
障害者自立支援給付費	利用者97人
生きがい対応型デイ	実人数48人
配食サービス	15,463食
保育所入所児童	4月134人→3月末133人
歴史民俗資料館	年間400人（町内207人）
納税組合奨励金	238組合4,192千円

育英資金は新規貸付0人（継続4人・1,440千円）で、基金95,927千円のうち83,010千円が現金のまま。「ゼロ予算事業」は別表1に5事業、うち4つがSNS（Instagram×2・Facebook・X）で成果欄は投稿数・いいね数・フォロー数、残る1つが幼児フロアリズム体験教室（2回36人）。

SECTION 10

10. 決算審査資料の読み取りにおける留意点

事業単位の前年比較の把握：増減理由は款冒頭の総括文が中心となるため、主要事業の継続・新規の区分や推移については質疑での確認が有効です。

成果指標の着眼点：民生費等の実人数把握に加え、施設整備や事業委託における利用実績・効果の検証がポイントとなります。

目標値と実績の対比：投入量（予算・決算）とあわせて、設定目標に対する達成状況（特定健診受診率等）の確認が期待されます。

実質単年度収支の2年連続赤字（Δ200,405千円）について、財政調整基金の取り崩し状況を含め、全体の財政運営方針とあわせて確認しておく必要があります。

SECTION 11

11. 委員会で確認したい点（まとめ）

この資料を読んで、執行部に説明を求めておきたいと考えられる項目の総まとめです。

テーマ	確認したいこと（質疑の柱）
執行残	予算現額86.7億のうち 9.04億（10.4%） が年度内に執行されていない。歳入も予算現額に対し7.9億少ない。 不用額・繰越を款別・目別に、歳入の未達と対応させた整理 はあるか
企画財政管理費	4年累計 3億9,942万 の不用。この規模が続く構造的な要因と、予算積算の考え方
予防費	受診率が5割前後で推移するなか、予算は対象者全員に近い規模。積算の考え方と、不用となった財源の扱い
不用額全般	執行見込みが立たなくなった事業費を、いつの時点で減額整理しているか。3月補正での整理の運用
繰越	商工業振興費1.72億（繰越率71%）・特産地づくり推進費1.21億（同72%）はそれぞれ何の事業か。複数年連続の繰越になっていないか
ふるさと納税	当初10.01億 → 3億の減額補正 → 実績6.11億という経緯。減額補正の時期と根拠、R8当初予算を再び10.01億とした考え方。募集経費の範囲（インターネット広告委託料64,923がふるさと納税分か）と5割ルールの算定方法
中間事業者	手数料率・評価指標・契約期間・契約解除の条項。R8予算7,700万との対応
民生費	就学前教育・保育施設整備交付金290,040の事業概要（場所・完成年度・定員）と、定員を見込む根拠
前年度実績事業の確認	生活管理指導員派遣事業／緊急通報装置レンタル料／太良町スタンプラリーの3件が、R7の決算書・報告書に見当たらない理由
総務費	電子計算費が+130%となった内訳。アナログ規制の改正件数、ロゴチャットのR7年度末利用率、庁内文書検索の調査状況
観光	誘客・振興の補助を投入しながら主要施設の利用者が減少している要因の分析
性質別	4年で人件費+18.5%・扶助費+33.3%・工事請負費△36.4%という変化を、次年度以降の予算編成にどう反映するか
資料	行政実績報告書に、事業単位の前年比較と成果指標（実利用者数・回数など）を継続して掲載できないか



【実務知識】委員会運営のルールと心得メモ

- ・ 質疑は**1案件につき原則3回まで**。挙手 → 委員長の許可 → **会計名・書類名・ページ数**を言ってから発言する。
- ・ 2日目は**歳出を款2～3款ずつ区切って**審査。3日目が歳入・財産調書・総括質疑。
- ・ 答弁できない数字は「後で提出」で処理されることが多い。**事前に資料要求を行っておくことで、当日の審議をより円滑に進められます。**
- ・ **未収金明細書は決算書に載らない委員会専用資料**。超過勤務の資料も特別委員会資料として配られる。
- ・ 資料は議会運営委員会の翌日から事務局で受け取れる（申し合わせ事項）。決算書はお盆前、行政実績報告書は8月20日過ぎに製本が上がる。

出典 | 令和7年度太良町歳入歳出決算書（一般会計）／令和7年度行政実績報告書／決算書をデータベース化したもの（R4～R7一般会計を款・項・目・節で収録。款計＝総括表の決算額と一致することを確認済み）／決算審査特別委員会会議録（2023-09-12・13／2024-09-17・18／2025-09-16・17）
作成：山口一生。集計は機械的に行っているため、疑義があれば原本でご確認ください。